

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ハスモンヨトウの発生状況と防除対策（技術情報10号）について（送付）

ハスモンヨトウの現在の発生状況は平年よりやや多く、今後の平均気温は平年より高い予想であるため、発生時期が平年より早まる可能性が高くなっており、今後の発生状況に注意する必要があります。

現在の発生状況とダイズ及び野菜・花きにおける注意事項を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考資料として御活用ください。

記

1 ハスモンヨトウの発生状況（表1、2）

（1）サトイモにおける虫数調査

8月5日に、発生指標作物としてダイズほ場近辺のサトイモでの発生状況調査を行った結果、50株当たりの寄生株率は39.2%で、過去8年の平均（平成15年度を除く平成11～19年度の平均：26.2%）に比べやや多の発生であった。50株当たり卵塊数は1.7（同平均：1.3）と並発生であった。若齢の幼虫数は485.7頭（同平均：188.3頭）と過去8年の平均に比べ多発生であったが、中齢及び老齢の幼虫数は106.2頭（同平均：133.4頭）と平年よりやや少なかった。また幼虫の寄生頭数が平均を上回った地点は、調査地点の半数である10地点に止まり、地域で発生に差が見られた。

（2）フェロモントラップの誘殺状況（図1、2）

生産環境研究所（合志市）のフェロモントラップでは、7月6半旬にピークが認められた。高原農業研究所（阿蘇市）では、7月6半旬にピークが認められた。

2 防除上の注意事項

（1）ダイズ

（ア）生産環境研究所（合志市）のフェロモントラップから、7月6半旬をピークとした場合、積算気温による次世代発生は8月5～6半旬になると予想される。ただし、気象予報（8月8日福岡管区気象台発表）によると向こう1ヶ月の気温は平年より高く、発生が早まる可能性が高いため、ほ場での発生状況に十分注意する。なお、サトイモにおける虫数調査では寄生頭数は平年より多く、今後とも、高温、乾燥条件で推移するとさらに多発することも予想されるので、早期発見に努め、適切に防除を行う。

（イ）若齢幼虫は集団となって食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、白変葉（若齢幼虫による被害葉）が認められたら防除を行う。なお、老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するため、早期発見に努め、若齢幼虫期に防除する。

（2）野菜（施設・露地）・花き

（ア）発生消長及び防除適期はダイズに準じる。

（イ）施設栽培では施設開口部を防虫ネット（4mm目以下）で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。なお、ネット上などにも産卵し、ふ化幼虫がネットの編み目をくぐり施設内に侵入するので、卵塊を見つけたら取り除く。

問い合わせ先

熊本県農業研究センター生産環境研究所  
病害虫研究室予察指導係（病害虫防除所）

担当：加賀山、東

TEL 096-248-6490（内線460）

FAX 096-248-6493

表1 平成20年度サトイモ50株でのハスモンヨトウ発生状況調査

No	調査日	調査場所	寄生株数	寄生株率	50株当り卵塊・幼虫数				
					卵塊	若齢	中齢	老齢	幼虫計
1	8/5	熊本市秋津1	20	40.0	0	451	24	1	476
2	8/5	熊本市秋津2	43	86.0	0	547	62	0	609
3	8/5	熊本市供合1	42	84.0	9	554	371	3	928
4	8/5	熊本市供合2	32	64.0	3	1559	156	1	1716
5	8/5	城南町碓1	15	30.0	0	133	38	3	174
6	8/5	城南町碓2	5	10.0	3	84	2	0	86
7	8/5	玉名市伊倉1	26	52.0	1	258	120	5	383
8	8/5	玉名市伊倉2	13	26.0	1	1163	62	1	1226
9	8/5	山鹿市鹿本1	16	32.0	4	625	276	8	909
10	8/5	山鹿市鹿本2	17	34.0	10	1166	153	16	1335
11	8/5	菊池市赤星1	47	94.0	0	1240	354	4	1598
12	8/5	菊池市赤星2	36	72.0	0	1378	303	5	1686
13	8/5	大津町陣内1	5	10.0	0	84	1	1	86
14	8/5	大津町陣内2	4	8.0	0	6	17	0	23
15	8/5	合志市竹迫1	15	30.0	0	188	26	1	215
16	8/5	合志市竹迫2	20	40.0	0	12	74	1	87
17	8/5	阿蘇市小野田1	0	0.0	0	0	0	0	0
18	8/5	阿蘇市小野田2	10	20.0	0	0	2	9	11
19	8/5	嘉島町六嘉1	17	34.0	2	33	19	0	52
20	8/5	嘉島町六嘉2	9	18.0	1	233	3	0	236
平均値			19.6	39.2	1.7	485.7	108.2	3.0	591.8

発生ほ場率は95%

表2 平成11～18年度(平成15年度除く)の平均値(サトイモ50株8月調査)

調査年	調査地点数	寄生株数	寄生株率	50株当り卵塊・幼虫数				
				卵塊	若齢	中齢	老齢	幼虫計
H19	14	12.6	25.1	3.8	165.9	61.1	13.1	240.1
H18	13	20.8	41.5	2.1	417.8	240.5	15.1	673.3
H17	13	15.1	30.3	0.9	145.6	80.1	11.7	237.4
H16	16	17.4	34.9	2.2	107.6	211.5	46.1	365.2
H14	15	14.9	29.7	0.6	205.5	143.0	21.4	369.9
H13	17	7.6	15.3	0.4	134.5	64.9	1.4	200.7
H12	9	11.7	23.3	0.4	249.2	64.0	1.2	314.4
H11	9	4.9	9.8	0.0	80.1	92.0	0.3	172.4
平均値		13.1	26.2	1.3	188.3	119.6	13.8	321.7

平成15年度は台風被害により調査出来なかった。

図1 ハスモンヨトウ誘殺状況（フェロモントラップ）合志市

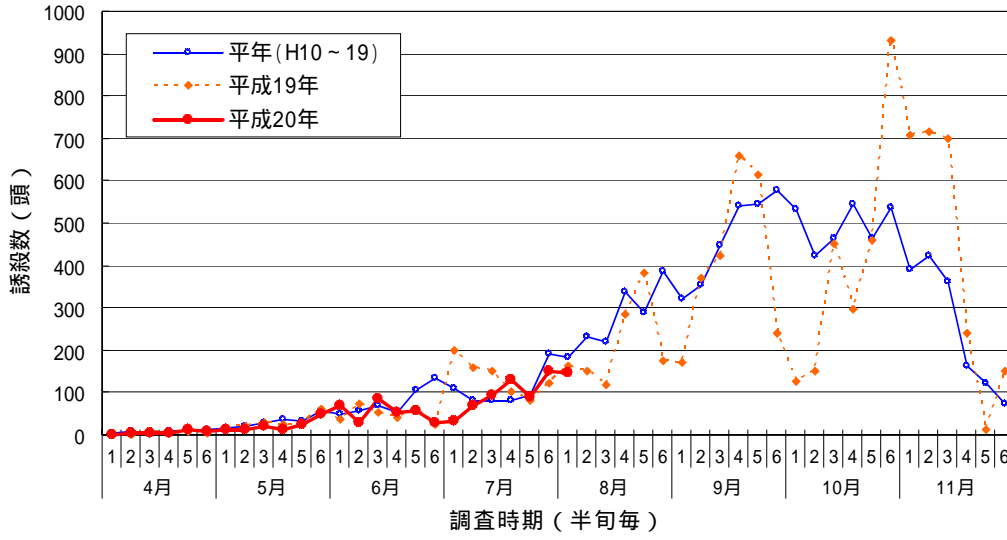


図2 ハスモンヨトウ誘殺状況（フェロモントラップ）阿蘇市

